

## 集団生活と感染症

春になりました。入園の時期が過ぎてしばらくたつと、毎週のように病院に来られるお子さんをお見受けします。「保育園に行き始めてから毎週病院に来ています。先生、うちの子からだが弱いんでしょうか？」決してそうではありません。今回は集団生活と感染症についてのお話し。

この時期に風邪をひきやすい理由は大きく二つあります。

第一に年齢。私たちには普段から呼吸などによってたくさんの病原体が侵入してきます。体にはこの病原体の攻撃を防ぐ「免疫」というシステムがあります。ただしこの「免疫」というシステムは最初から完成しているわけではありません。いろいろな病原体を経験して、学習していくものです。ある程度免疫のシステムが完成するのは小学校に入学する頃、従ってお母さんから貰った免疫がきれる生後半年頃～小学校入学までの間、つまり保育園や幼稚園に通い始める時期は風邪をひきやすい時期となります。目安として1～2歳の頃は1年に10回程度風邪をひいても普通です。

第二に場所。集団保育では前記のように風邪をひきやすい子達が集まってきます。2～3歳のクラスでは1/3～1/4ぐらいの子が鼻水をたらしていたり、咳をしたりしています。つまり熱は無いけど風邪をひいている状態です。この子達がお昼寝の時などは50cm間隔で一緒に寝ています。病原体を貰いやすい環境にあるのです。考え方として集団保育では「今何が流行っている」ではなく「常に何か流行っている」と思って頂いてよいと思います。

このような理由で集団保育の最初の頃は何度も小児科にかかるケースが多く、「通い始め症候群」などと呼ばれています。でもこれは免疫システムを構築していく上では避けて通れない過程です。風邪をひいている感じがあればかかりつけを受診して、過度に不安にならずに対応していきましょう。